

## 平成30年度 卒業証書授与式 答辞

野山が聳えるこの信楽にも霜が降り段々と春の賑わいが広がるそんな季節となりました。本日私たち卒業生のためにこのように厳かで晴れやかな「平成」最後となる卒業証書授与式を挙げていただきましたことを卒業生一同、心よりお礼申し上げます。また、ご来賓の皆様、保護者の皆様、本日の式典に足を運んでくださり誠にありがとうございます。

さて、先ほどは校長先生、来賓の方々、在校生の皆さんから数々のお祝いと励ましの言葉をいただき新たな舞台へ出発する決意ができました。今こうして卒業を迎えると思うとこの信楽高校で過ごした3年間は思い出されます。先生や仲間と過ごした3年間は何にも代えることのできない掛け替えのないものでした。

1年生。桜香る入学式。春風が私たちの背中を後押しする。期待以上に不安が募る中、私たちはそれぞれの思いを胸に高校生活の第1歩を踏み出しました。教室から漂う緊迫とした空気。教室は初めて顔を合わせる人が多く、緊張を隠すことができませんでした。学校へ通う度に「友達はあるだろうか」、「先生や先輩方とはうまく接していけるだろうか」、「勉強は苦手だけれど大丈夫だろうか」と悩むこともありましたが、しかし、悩みも束の間、日が経つにつれ教室では「おはよう」とクラスメートからの挨拶が飛び交っていました。こうして始まった私たちの高校生活。ふと気がつくとならぬ中間考査。試験の返却が始まった時にはよく友達と騒いだものです。そして迎えた体育大会。緑が生い茂り、カンカンと照り上がる真夏の夜空。先輩方が私たちに優しく手をさし伸ばしてくださったおかげで積極的に団の一員として参加することができました。笑い合い助け合い団結できた高校生活最初の体育大会は学年の枠を超えた絆が生まれました。次第にお昼をともにする仲間も増え、会話の弾む日々が続くようになりました。また、先生方とも距離が近く感じるようになり、高校生活って中学の頃より楽しいと感じることのできた1年目でした。

2年生。心にも少し余裕ができ高校生活に慣れて始まった系列別授業。少人数で受ける授業の取り組みの中で友達や先生との距離も一層縮まりました。たくさんの行事が次々とやってきた高校生活の2年目は更に友達との絆が深まりました。例えば学期ごとに行われる全校一斉漢字テスト。みんなの意気込みが強く、他のクラスの平均点に負けるものかと頑張りました。学年主任の先生や担任の先生はよく頑張った生徒へサプライズを用意することもあり、教室がどよめきに包まれました。みんな意欲的に取り組んだことが懐かしく思えるのも、先生方の熱意や情熱があったからだと思います。季節が移ろい色なき風が吹く。心が躍り、ついに迎えた修学旅行。関東の各地を巡り行く、胸を揺さぶる3泊4日でした。宿を借り、秋の灯に暮れた一夜。豪勢な食事に欲張ってお箸が止まりませんでした。宿には大浴場があり、温かい湯に、そして宿のオーナーさんの愛情に心が安らぎました。夜が更けると各部屋でみんなと多くのことを語り合いました。自主研修では美味しいものを食べたり買い物したりと観光名所を訪れることに。ディズニーリゾートでは友達とお揃いのアイテムを買い、あちらこちら見渡しては思い出の写真をたくさん撮り、夢のようなひと時を過ごすことができました。また、最終日を締めくくった中華街。初めて食べるものばかりで美味しさのあまり驚きを隠せませんでした。秋が深まり高校生活に折り返し点があったころ、インターンシップがやってきました。いよいよ進路に向けて動き出す時期だと実感の湧くものでした。また、非常に貴重な体験をさせていただき私たちの教訓となりました。高校生活というものは自分の人間関係、そして自分の進路を見つけるためにあるのだと感じることのできた2年目でした。

そして3年生。あつと言う間に時は流れ、気がつくと最高学年に。進路決定に向けて焦りと緊張の連続であった年。毎日の学校生活や行事、進路決定など最高学年としての自覚と責任を日々意識しました。特に6月の梅雨時、昨年まで見ていた先輩方の頼もしい姿を思い浮かべながら後輩たちをまとめ、みんなと相談し、最後の体育大会に取り組みました。上手くいかない時、不満を声に出すこともありましたがそれぞれの団が力の限りを尽くしました。時に頼りある団長がみんなをまとめ迎えた体育大会当日では、晴れやかで最高の舞台上で最高の思い出ができました。1・2年生の皆さん、我々3年生を頼ってくれたこと、本当に感謝しています。汗ばむ陽気を見せた最後の夏休み。バイトに明け暮れた日々。シフトを決める際にバイト先で働く残りの期間に自然と寂しさを覚えました。上司や仲間とトラブルになっても何かに食らいつき一生懸命に前を向こうと努力したあの日々は、私たちにとって「成長」という2文字を教えてくださいました。さらに、この夏休みに将来に向かって私たちは動き始めました。就職または進学のためのオープンキャンパス・企業見学・進路実現のための学習会にそれぞれが期待や不安を感じずにはられませんでしたが。私たちの中には、この時期、何もかも捨てて逃げ出したかった人もいたことでしょう。しかし、自分の人生と真剣に向き合い悩み考え努力しました。進路決定に対して一人では乗り越えられない壁を打ち破る自分を応援してくれる支えがそこにはありました。その支えがどれほど心強かったかわかりません。友に先生にそして家族に心から感謝しています。夏の盛りが静まりかえろうとした季節。制服を着慣れるようになった私たちに訪れた最後の文化祭。準備する期間も短く3年生全員がこれまでの経験やアイデアを総動員し、3年生ならではの最高の文化祭を仕上げることができました。心をひとつに楽しい文化祭にできたのは1・2年生や先生方・PTAの役員さんの協力と支え、クラスメイトの助け合いがあったからです。また、そのあとに続く球技大会・総合学科発表会も多くの人に支えられ無事に終えることができました。冬の空、気づけば3年生の終わり。本当にこの3年間すべてにおいて感謝できる出来事ばかりでした。

「感謝」。私たちは感謝しています。家族に友達に先生方に地域の方々に、そして信楽高校に。数えることのできない多くの真心が私たち一人ひとりの成長の糧となっています。3年間とても多くの人にお世話になりました。あまり態度では示せていなかったと思いますが、強く生きていつか恩返しをしたいと考えています。

昨年世間では多くの災難に見舞われました。台風21号の影響・西日本豪雨をはじめ自然の脅威を目の当りにしました。それでも多くの人々のボランティアや支えがあって少しずつではありますが、復興に向かって前に進みつつあります。希望の光も見えつつあります。そんな明るい未来に向かって今日、平成最後の卒業生60名が創立70周年という伝統ある信楽高校を巣立ちます。

3年間を共にしてきた唯一の仲間、好き嫌いなんて関係ない。クラス全員で輪を作り手を重ね合わせチーム信楽となった今日この日、心の底から「みんなといて良かった」と感じています。みんなと笑った、みんなと泣いた、みんなと叫んだ、みんなと分かち合ったひとつひとつの思い出が今の私たちの支えになっていると思います。「みんなありがとう」。

いよいよお別れの時です。最後になりましたが、校長先生をはじめ学年主任の池上先生、担任の山崎先生・大崎先生・諸先生方・地域の方々・そして家族……皆さん本当にお世話になりました。これから私たちは2つとない自分だけの花を咲かせに行きます。どうか暖かく見守っててください。信楽高校で過ごした日々はとても意味のあるものでした。信楽高校の卒業生として誇りを持ち、胸を張って自分の人生を歩んでいきます。

改めて心から感謝の言葉を述べ、答辞とさせていただきます。

平成31年3月1日

卒業生代表 奥田智章